

牧野市長(左)から委嘱状を受け取る川口さん=6日、
鯖江市役所



鯖江市の新たな地域おこし協力隊に6日、カナダ出身の川口サマンサさん(27)が委嘱された。外国出身の隊員は同市では初。9月にオープンした国連の持続可能な開発目標(SDGs)推進拠点「さばえSDGs推進センター」で、市の取り組みなどを国内外へ情報発信する。(土生仁巳)

鯖江SDGs 私が発信

地域協力隊員にカナダ出身女性

ジェンダー平等に注力

「国連との懸け橋に」

幼い頃から日本文化に興味があったという川口さんは高校卒業後来日し、2013年から「国連の友アジアバシフィック」でアルバイトをしていた。鯖江のことはこのときに知り、牧野百男市長が2018年、ニューヨークの国連本部で行われたSDGs推進会議で市の取り組みを演説した際には、川口さんが通訳を担当した。川口さんは、市が女性活動を推進し、SDGsの目標5「ジェンダー平等の実現」に注力している点と共に鳴り、協力隊員に応募した。川口さんはこの日、市役所で牧野市長から委嘱状を受け取った。今後市の取り組みの情報発信のほか、国連

作品が会場を彩る。OSK日本歌劇団のレビューは31日、11月1、3日に野外ステージで行う。観覧車などの大型遊具やフードコーナーは土日祝日のみ運営する。

9日は午前9時からオープニングセレモニーがあり、OSKの桐生麻耶さん、城月れいさんが歌声を披露する。

たけふ菊人形は11月8日まで。会期中は無休。午前9時~午後5時。入場無料。問い合わせは菊人形事務局=☎0778(21)0175。(佐藤哲也)

の関係機関などの連絡調整や、SDGs推進に関する国内外の情報収集と翻訳、SDGs推進事業の企画運営などを担う。「私にとって大切なジェンダー平等に

取り組めることがうれしい。鯖江と国連の懸け橋となりたい」と抱負を述べた。川口さんは、今月から北海道出身の夫と鯖江市内で暮らしており、自然豊かな

理解してくれていることがうれしい。ぜひ戦力になつて」とエールを送った。市協力隊員は川口さんで4人目。任期は最長3年。



文が出された。のテーマは「フクパーク魔アラジンと魔法女と野獣」を菊ほか、菊花同好精込めて育てた



たけふ菊人形会場の展示状況を見て回る実行委メンバーラー6日、越前市武生中央公園

風景や住民の優しく明るい人柄を気に入り、「鯖江を観光面でも国内外に発信していけたら」と意気込む。牧